

7月19日(日)14:00~15:00



参加
無料

akta
活動報告会オンライン

akta 平成 3 1 年度活動報告書

目次

1. 特定非営利活動法人akta(2019年度)
2. アウトリーチプログラム
3. community center akta ―MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営
4. Living Together ―HIVのリアリティ伝えるプログラム
5. ウェブサイトを用いた啓発
6. HIV検査普及プログラムと行政連携
7. 調査・研究

特定非営利活動法人akta

「ゲイコミュニティの中から、ゲイコミュニティに向けて。」

aktaはアジア最大といわれる、ゲイバーや商業施設が連なる新宿2丁目を拠点に活動しています。

私たちは、全ての人がH I Vとともに生きているという視点から、多様なセクシャリティとセクシャルヘルスの認知と理解をはかり、だれもが自分らしく暮らせる街づくりに寄与することを目的としています。

2018年 日本のHIV/エイズの状況

新規に**1,317**人のHIV感染者・エイズ患者報告

新規陽性者のなかで、

66.4%(875人)

の人たちが
日本国籍の男性同性間の
性的接触で感染している。

新規陽性者のなかで、

約32%(423人)

の人たちが**東京都**から報告
されている。

●東京都梅毒報告**1,775**人（内、男性が**1,180**人同性間性的接触 推定25.9%）

2019年度 活動のミッション

- HIV関連機関とゲイコミュニティの、男性同性間のエイズ対策と性の健康増進における「ハブ」機能の継続
- HIV感染報告数が増加傾向にある**若年層MSM**を対象の予防行動促進
- AIDS発症で感染がわかるケースの多い**中高年層MSM**へのHIV検査普及
- 滞日外国人**に向けた情報提供
- HIVのリアリティ**を共有するプロジェクトの継続

受託事業一覧

- ・ 厚生労働省 同性愛者等向けコミュニティセンター事業(公益財団法人エイズ予防財団受託):community center akta
- ・ 厚生労働省 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業 HPによる検査相談体制等情報提供:HIVマップ
- ・ 東京都福祉保健局(公益財団法人東京都結核予防会) 東京都エイズ啓発拠点事業
- ・ 千葉県健康福祉部:HIV検査広報
- ・ 埼玉県疾病対策課:HIV検査広報
- ・ 新宿区保健所:HIV検査広報
- ・ 港区みなと保健所:HIV検査広報
- ・ 医療法人社団 大和会 多摩川病院

寄付をいただいた団体・個人

ヴィーブヘルスケア株式会社、ギリアド・サイエンス株式会社、TRUNK HOTEL他、団体、個人の方からもご寄付をいただきました。お名前の掲載は控えさせていただきますが、心よりお礼申し上げます。

● 講師派遣

東京都福祉保健局、神奈川県保健福祉局、埼玉県疾病対策課、千葉県健康福祉部、国立保健医療科学院、JICA、エイズ予防財団、東京大学、東京女子医科大学、東京医科大学、首都医校、慶応義塾大学、成城大学、鴻巣保健所、埼玉県草加保健所、新宿区保健所、ヴィーブヘルスケア株式会社、ギリアド・サイエンシズ株式会社、TRUNK HOTEL、プライドハウス東京ほか。

● 外部委員会への参加

厚生労働省・公益財団法人エイズ予防財団「世界エイズデーキャンペーンテーマ検討会議」、東京都福祉保健局「世界エイズデーポスター審議会」、新宿区保健所「新宿区HIV/AIDS関係機関ネットワーク連絡会」

● 海外への参加

「Fast-Track Cities 2019」への参加と発表
2019年9月8日～11日に、英国・ロンドン市
台湾同志遊行（台湾LGBTプライド）
2019年10月25日～27日に、台湾・台北

3. アウトリーチプログラム

木南 拓也・藤原 孝大

DELIVERY HEALTH PROJECT

目的：定期的に情報を届けてaktaの周知と普及啓発を行う


DELIVERY
BOYS


Adult
DELIVERY

資 材
発 送

524ヶ所へ届ける、524ヶ所からの情報発信

新宿2丁目

ゲイバー169店舗

毎週金曜日

(第3週を除く)

新宿・大久保エリア

性風俗店14店舗

毎月第1金曜日

全国

MSMを取り巻く環境

毎月月末土日

MSMが集まる商業施設に

顔と顔をあわせた定期的アウトリーチ

現在、上野・浅草・池袋・新橋・渋谷等の商業施設は郵送で対応

ゲイバー71件／性風俗店13件／ポルノショップ9件

行政機関 17件／議員6名／教育機関
19件／医療機関 46件／研究機関 7
件／保健所 54件／HIV関連NGO 16
件／セクシャリティ関連NGO 18件
／制作関係者 16件／センター9件／
メディア関連 7件／企業 18件／そ
他 15件

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

啓発普及の基点（連携のハブ）

HIV関連機関との連携



ゲイコミュニティとの連携

akta monthly schedule



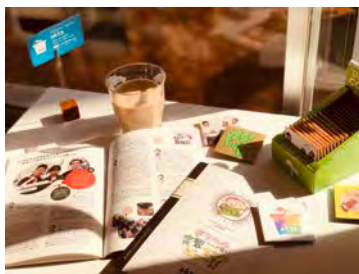
— 資材制作 —

デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー冊子

プログラムの目的：「akta monthly schedule」内にて2017年8月より掲載している「デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー！！」を2019年3月までの内容に、情報を追加したリメイク版を作成する事で、更なるaktaの周知と、コミュニティーとの連携を強める。



広報：akta非公式Twitter「あくたくん」アカウントにて、4月いっぱい「デリヘルくん」がジャックする形で冊子の広報を行った。インタビューの掲載をしている店舗のマスターに冊子を持った写真を撮らせて頂き、店舗のTwitterアカウントをタグ付けする形でツイートをを行った。店舗によるリツイート等で拡散をしてもらう事で、多くの方に冊子の存在を知らせる事が出来た。



発行部数：2000部 発行、配布

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/169店舗、TOKYO RAINBOW PRIDE会場
その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショップ)/106店舗 保健所/51施設
行政・教育・医療・研究機関等/60施設 HIV関連NGO/16施設 その他/名

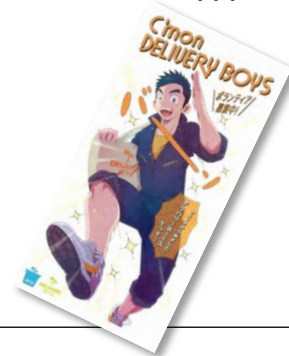


DELIVERY HEALTH PROJECT

プログラムの目的：セーフーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。

また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる。

対象となる人や施設：新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブの顧客と従業員
また、参加するボランティアスタッフも対象となる。



実施内容：毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブにコンドームをはじめとした性の健康に関する様々なアイディアを配布(アウトリーチ)する活動です。



実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時

登録者数：132名(内毎回10～20名前後のスタッフが参加)

配布店舗数：169店舗

コンドーム配布数：

2019年度(年間48383個)※2019年4月～2020年3月末までの配布数
1週間で約1500～2000個配布。

配布実施日数：2019年4月～2020年3月末までで37日



コミュニティセンターの活動状況

new!aktaチャンネル



動画を制作して、定期的にaktaの活動紹介とHIV・セクシュアルヘルスの情報発信を！

2019年11月1日 aktaオフィシャルチャンネル 登録者数52人 視聴回数1,100回



12月1日(日) akta youtube channel公開開始！

＜HIV感染症の専門医が徹底解説！＞
Part1,Part2,Part3

コミュニティセンターaktaでできること



＜aktaスタッフがYouTuberに＞

4. community center akta

ーMSMを対象とするエイズ対策拠点の運営

荒木 順・藤原 孝大

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

akta café 2019



プログラムの目的：

「HIVcheck」による検査イメージとコミュニティ感覚のバランス。
若年層へaktaの利用を提案し、新規利用層へのcommunity centerとしてのaktaの認知度の向上。



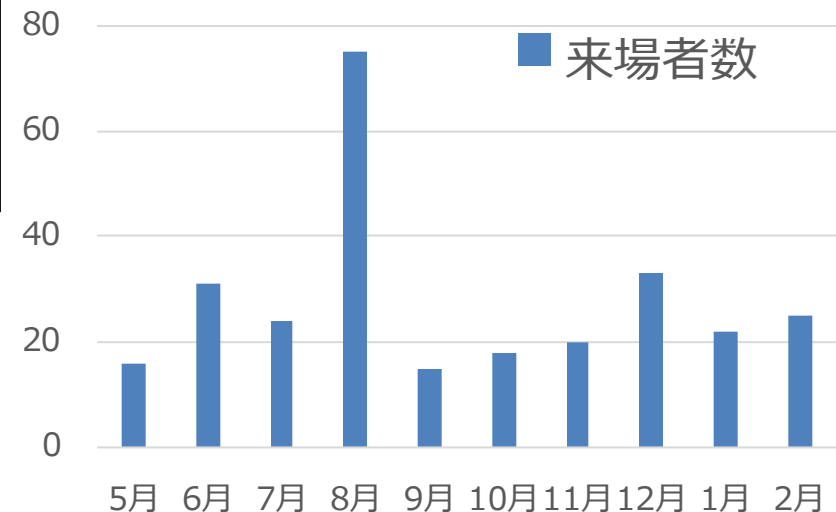
実施内容：

2018年6月より年10回を目安にcommunity center aktaにて利益を目的としない営業範囲に留めcafe営業を開始。2019年よりWEBページを開設し、夏には二丁目祭りに合わせて広報を行った。他ポスター、カードの作成や、9monstersでのバナー展開など、広報に注力を注いだ。



結果：総来場者数279名(平均28名)。

初来場者数53名(平均5.3名) アンケート集計は187名。
二丁目祭りや、aktaで開催中の展覧会とのコラボにより多くの集客があった。初来場者も多く、akta認知への繋がりも見られた。



— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

akta café 2019



Webページの開設：

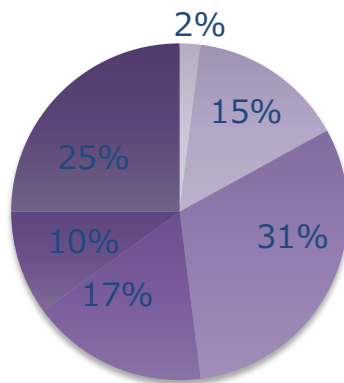
akta caféの開催や提供サービスをwebを通して広く周知し、コミュニティセンターaktaに来館したことがない人達へ、入館しやすいイメージを持って、akta caféを通じてaktaを知った人達へaktaを認知してもらうためのツールとして2019年6月より開設。3月31日までで17,082件のページビューがあった。



アンケート結果：

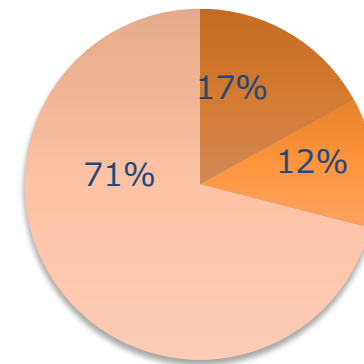
今年度からGoogle Formsにてwebアンケートを実施。利用者の年齢、akta利用状況、akta初来場者のakta認知とこれまでに来館しなかった理由など様々な情報を得ることが出来た。

利用者の年齢割合



■ 10代 ■ 20代前半 ■ 20代後半
■ 30代前半 ■ 30代後半 ■ 40代以降

café目的来場者のakta利用状況(n=66)



■ 初めて ■ 6ヶ月以前に来た ■ 6ヶ月以内に来た

MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営

新規来場者を増やして、情報にアクセスする機会を提供する

令和元年 8月18日(日) 新宿二丁目

東京レインボー祭

コミュニティセンターaktaでは盛りだくさんのイベント開催。
今年も新宿二丁目で行われる東京レインボー祭を盛り上げます!

GCQアンケート開催 (15:00~18:00)

性の健康に関するアンケートを実施。回答すると、先着200名に
QUOカードをお渡しします! 祭会場で配布されるアクセスカードを
ゲットして、スマホで回答しよう。



写真展 (8/10~8/24)
SHINJUKU STORY
at akta

Kaz Sanjuさんによる、
新宿二丁目の45店のバーとママ達の写真を展示。



あくたくん

HIVcheck.jp
ノベルティ
ステッカー配布

モデルのSASUKE、SIOのキャンペーンステッカーを
限定200枚、祭の会場で配布します。
HIVcheck.jpは、毎週月曜19時からaktaで配布するHIV検査です。

**akta cafeを
オープンします! (15:00~20:00)**

月に1度開催されるカフェイベント。
冷たいオリジナルドリンクを提供します。

※わからないことがあれば、当日新宿公園のaktaブースに来ていただくか、直接コミュニティセンター aktaまでいらしてください。



「Shinjuku story」写真展



「性教育と博物館」展



「I Am-transgender diversity」展



2019年の展示会は224人、168人、
102人と集客力の高いもの、新宿
二丁目や性をテーマにしたもの
が多く行われた。またAAセク
シュアルマイノリティミーティ
ング、ゲイ読書会、竹輪句会など
が定期開催されている。



「こうき原画展」トークイベント

連携によるコミュニティへの情報発信

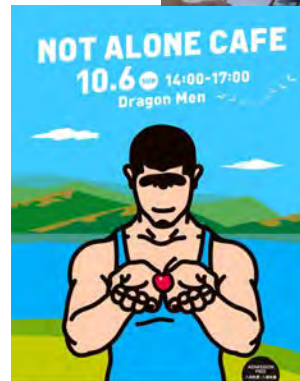
10月10日@subaCO
トークイベント「2020年東京で目指す90-90-90」
プライドハウス東京xUNAIDS
覚書を締結しているUNAIDSのSalil Panakadan 氏他



韓国「KNP+」交流会



8月12日
東京レインボー祭り
主催:新宿二丁目振会



毎月第一日曜日@二丁目
DRAGONにて有志で開催。
日本に来て間もないゲイ・
バイ男性のための居場所
作りcafe



TRANK
HOTEL
チャリティー
イベント

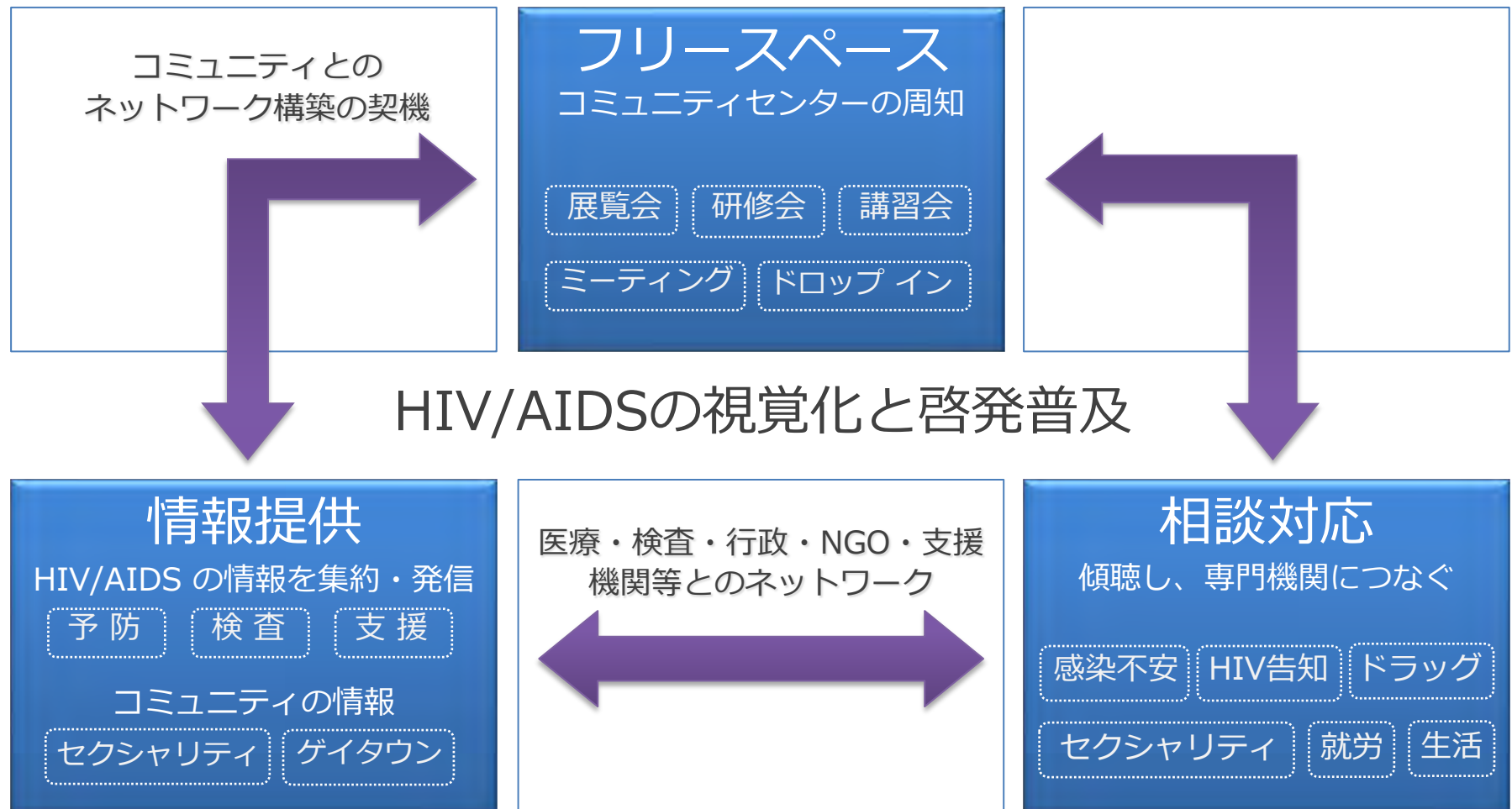
11月27日(水)~29日(金)
@熊本城ホール
日本エイズ学術集会ブース出展
「MSM ALL JAPAN」も参加



10月28日
台湾同志遊行
Taipei LGBT Pride



コミュニティセンターの機能



— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

コミュニティセンター akta

東京都新宿区新宿2-15-13第2中江ビル301

東京メトロ丸ノ内線・副都心線・都営新宿線 新宿3丁目駅から徒歩 3 分

開館時間：16:00 – 22:00(火・水曜,年末年始除く)

スタッフ：常勤3人、非常勤9人、ボランティア：132人



(2019年4月から2020年3月まで)

総来場者： **6,125人** (前年6,125人 88.3%)

初来場者： **1,716人** (前年度比113.8%)

稼働日： **241日**

相談件数： **94件**

(2003年9月から2020年3月まで)

累計来場者数： **128,524人**

平成31年度「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式事業（厚生労働省委託事業）」を公益財団法人エイズ予防財団が受託し、新宿区新宿二丁目にあるセンターの運営をaktaが行っている。

約300軒の商業施設が密集する“新宿2丁目”で
コミュニティの中から、コミュニティに向けて普及啓発。

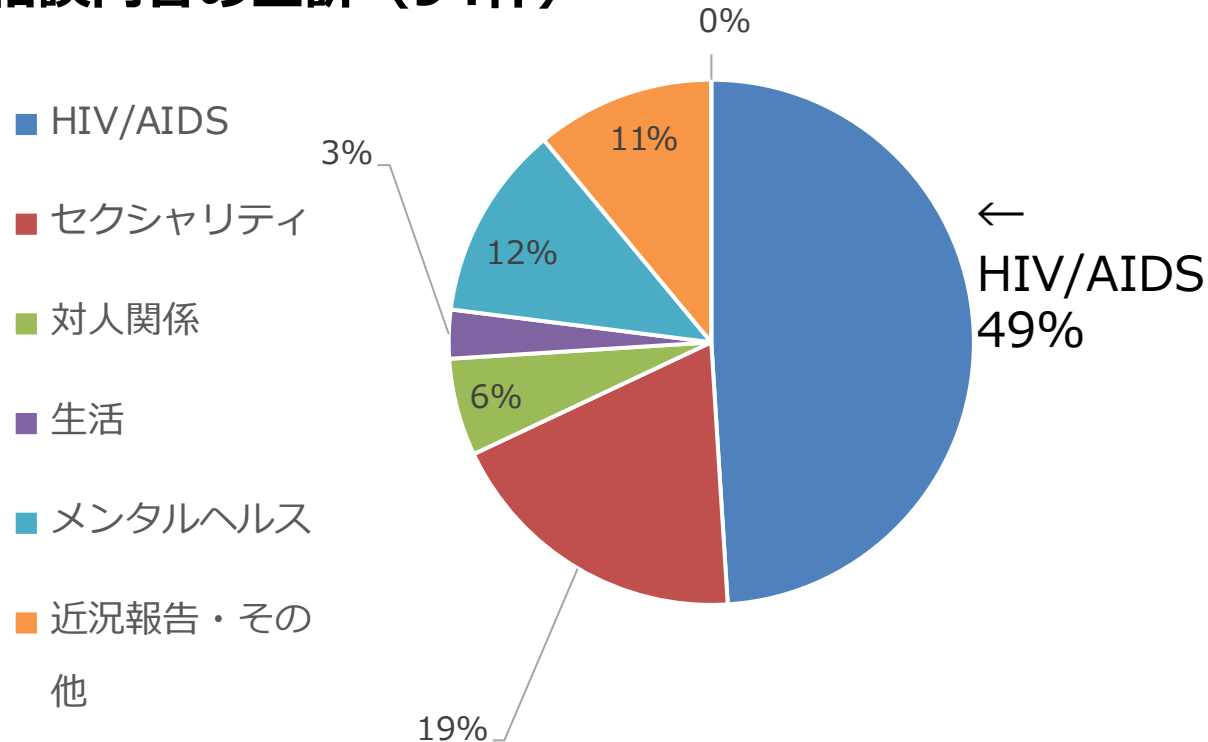
コミュニティセンターの活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	477	432	654	590	808	540	323	648	625	376	394	258	6,125
来新規場者数	81 (17%)	100 (23%)	150 (23%)	163 (28%)	244 (30%)	135 (25%)	105 (33%)	222 (34%)	261 (42%)	98 (26%)	95 (24%)	62 (24%)	1,716 (28%)
相談件数	8	3	5	17	4	8	1	3	3	17	12	13	94

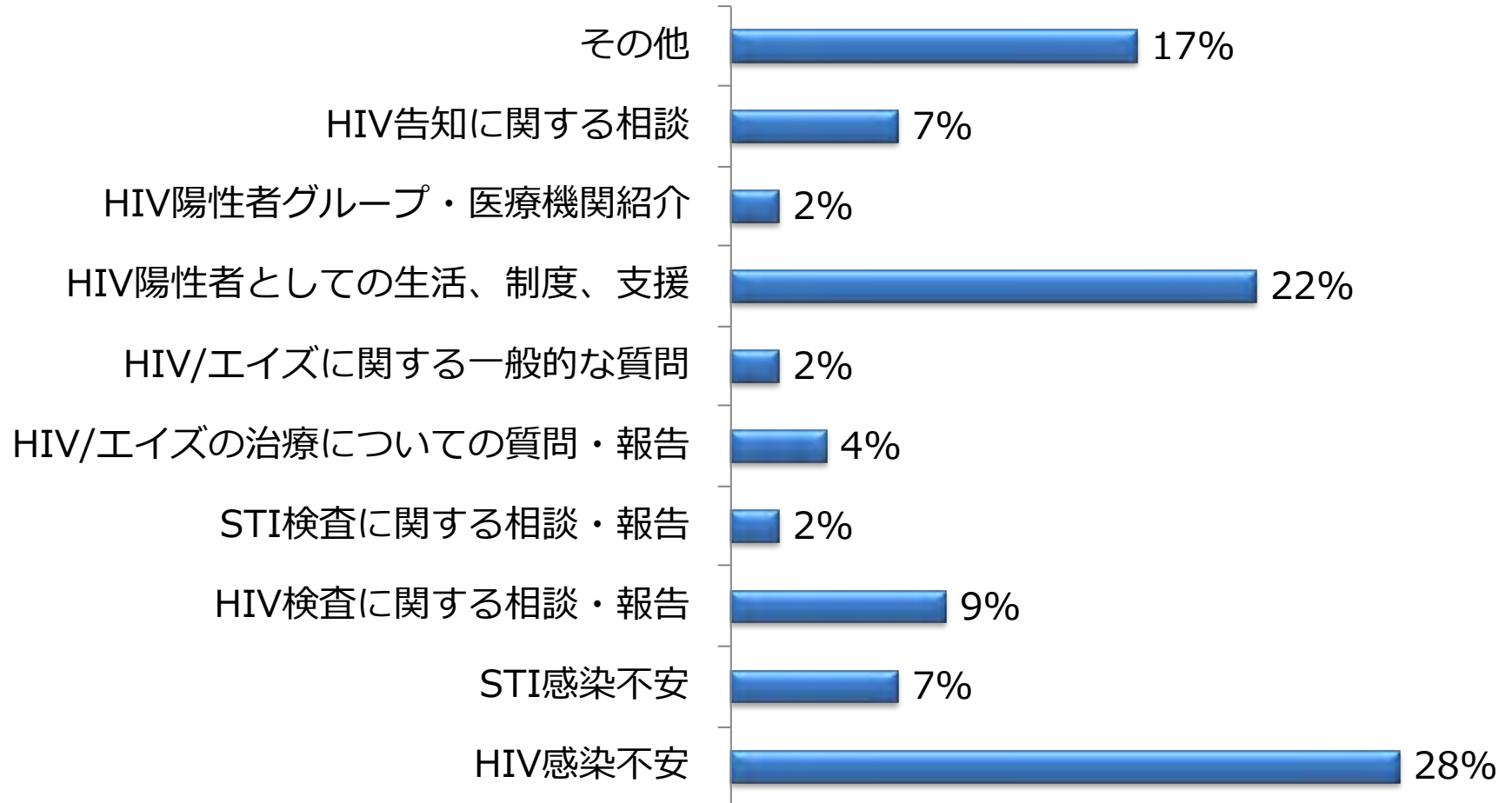
相談対応

セクシュアリティに理解のあるスタッフが
オープンスペースで対応し、支援リソースへつなぐ。

相談内容の主訴（94件）

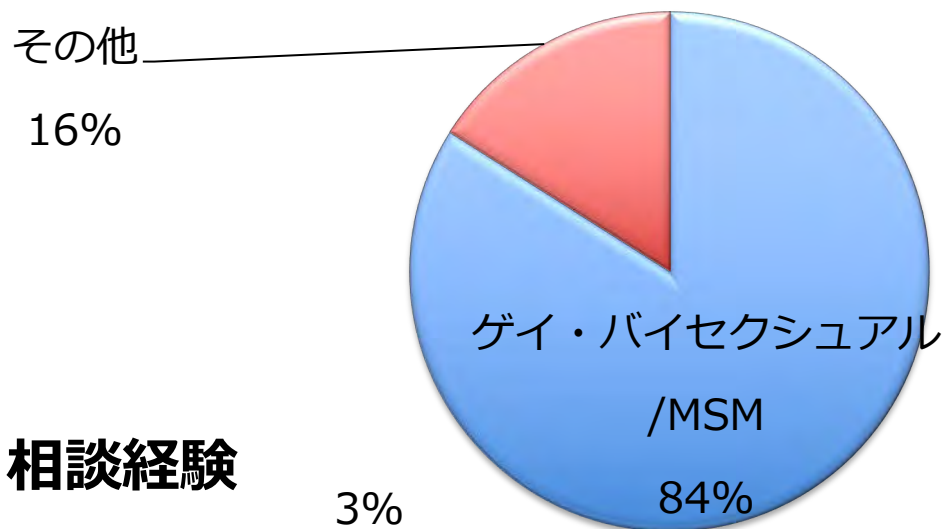


HIV/エイズに関する相談の主訴 (46件の内訳)

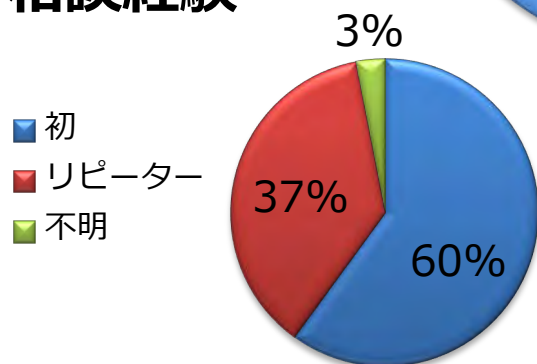


相談者の属性

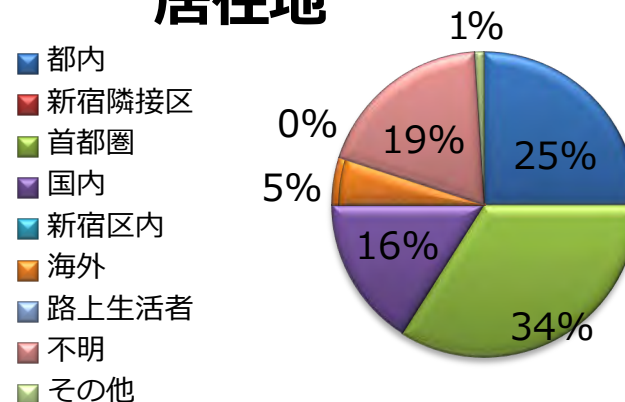
セクシュアリティ



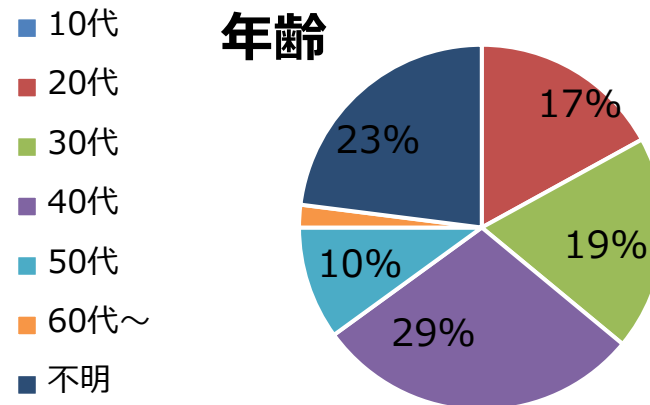
相談経験



居住地



年齢



相談件数94件（陽性割合18.0%）

利用者の傾向など



- 新規来場者が増加傾向にある。（前年比113.8%）
検査キットの配布「HIVcheck」（厚生労働省の研究班との連携）や来場者アンケート、企画イベントの開催、展覧会などの「キッカケ」が重要。オンラインによる情報発信を強化。
ホームページ、FACE BOOK、akta公式Twitter、あくたくんTwitterで定期的に発信。
TwitterBOTの開始。akta youtubeチャンネルの開始。

相談・情報提供

- 基本は常勤スタッフ（2名）が対応。臨時スタッフを含めて定期的に情報の整理と共有を実施。
- 件数94件＋「HIVcheck」実施時の専門家相談件数約238件
内容：HIVの感染不安や検査、HIV感染が判ってからの生活についてが多く、セクシュアリティやメンタルヘルス等重複した問題について、また外国人やトランスジェンダーからの相談が増加している。

2019年の活動状況

スタッフの来場者対応における質の平均化と向上を図る

○スタッフ研修会の実施

-専門家を講師に迎えてHIV陽性者からの相談事例をもとに、ロールプレイとケースカンファレンスを行う

○定期ミーティングの実施：事務局 ミーティング（月2回）,始礼（毎日）,NPO運営ミーティング（週1回）,全体ミーティング（月1回）

多様な来場者に向けた対応

○外国語対応（英語）のツール開発

-スタッフのための英語研修会の実施

-新宿を中心としたクリニックへのアンケート調査

-英語ツールの開発（タウン情報,HIV検査情報,HIV感染が分かっから生活情報,akta紹介）

○利用者対応のルールやスペース貸出規約の作成見直し



ボランティアスタッフ募集

aktaでは、活動へ参加してくれるボランティアスタッフを大募集しています。
1回からの参加でも大丈夫です！一緒に楽しくボランティアしてみませんか？

アウトリーチ	イベント
デリバリーボーイズ 毎週金曜日にお届けの30分番組です。毎週2週間隔の放送。視聴者から寄せられた質問や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。視聴者からの質問や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。視聴者からの質問や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。 放送日：毎週金曜日 放送時間：22:00～22:30 視聴者からの質問や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。 放送日：毎週金曜日 放送時間：22:00～22:30 視聴者からの質問や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。	Living Together のど自慢 HIV陽性者や、その他の病気の人たちが暮らす生活の様子、コトバ、その生活の体験や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。視聴者からの質問や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。 放送日：毎週金曜日 放送時間：22:00～22:30 視聴者からの質問や悩みを、専門家やボランティアスタッフが回答します。

2019年の活動状況

知識の向上と資材開発、啓発普及

- 勉強会や意見交換会を開催。研修会等に積極的に参加
(PrEP, U=Uなどのテーマ, 資材の見直し, aconのクルージングガイドの翻訳他) → 予防啓発、資材開発に反映
- akta Talk Showの開催 (東京都委託事業) 年4回



専門家相談会「エキスパーク2020」開催 (対面・無料・予約なし) の実施

- ニーズの把握, 対面で感染不安やセックス時の不安について話せる場の設定, 専門家とのネットワーキング

災害・緊急時対策

- 災害・新型コロナウイルス感染症対策など緊急時のプロトコルの作成とシュミレーション

☆「場」があり「人」がいる価値を最大限に活かす！



akta talk show(東京都委託事業)

プログラムの目的：コミュニティへの情報共有、意見交換、普及啓発

対象なる人や施設：コミュニティの人たち、商業施設のオーナーやスタッフ、aktaボランティアスタッフ、HIVに関連した活動をしている人たち、LGBTs

実施内容：

6月9日(日) akta活動報告会 シンポジウム 2020年に迫る東京オリンピックに向けて

-ゲイ・バイセクシュアル男性にとっての性の健康の対策に何を必要とされているのか-

出演：松中権氏(認定特定非営利活動法人good aging yells代表/プライドハウス東京代表)、

田沼順子氏(国立国際医療研究センター展エイズ治療展研究開発センター 医師/厚生労働省エイズ対策研究事業「2020年五輪大会に向けた東京都内の性感染症展HIV対策に関する研究：研究代表者」)

司会：岩橋恒太(akta) 参加者：56名

8月23日(金) コンドーム試触会コンドームソムリエ Aiさんワークショップ」

講師：コンドーム ソムリエ Ai氏 司会：岩橋恒太(akta)、木南拓也(akta)

2月14日(金) 「HIV感染がわかってからの治療と暮らし」

講師：若林チヒロ氏/埼玉県立大学健康開発学科

池田和子氏/HIVコーディネーターナース/看護支援調整職 国立研究開発法人

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

司会：荒木 順

3月8日(日) 「MSMが受けやすい検査とは? ※コロナ感染拡大防止のため延期

-検査の現状と課題を知っておこう」

講師：城所 敏英氏/東京都南新宿検査・相談室 室長、医師

金子典代氏/名古屋市立大学看護学部 国際保健看護学、厚生労働省エイズ対策政策研究事業

「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」研究代表者



5 . Living Together

- HIVのリアリティを伝えるプログラム

荒木 順

WE'RE ALREADY LIVING TOGETHER

TOKYO
RAINBOW
PRIDE



**WE'RE
ALREADY
LIVING
TOGETHER.**

HIVを持っている人も、
そうじゃない人も、
まだ分からない人も。
わたしたちはすでに、
いっしょに生きている。

**WE'RE ALREADY
LIVING TOGETHER.**

LTイベントの開催

プログラムの目的：

- ・ HIVを自分の事として、身近に捉える機会を提供する
- ・ 陽性者の声を可視化して、スティグマを低減し誰もが生きやすい環境へ
- ・ 自分の行動を振り返り、予防行動・検査行動へつながる

方法：

- ・ HIV陽性者や周囲の人が書いた手記のリーディング、HIVの最新情報の提供、DJタイム、LIVEやパフォーマンス等で構成
 - ・ キーパーソンやグループとコラボレーションをして新しい層へ普及する
- 協力「Living Together計画」：多様性を伴った視点からすべての人がHIVとともに生きているというリアリティを共有するためのプロジェクト（ぷれいす東京とaktaが呼びかけ団体）

結果：

- ・ イベントへの参加経験が、HIVの会話経験や検査行動につながっている

Living Togetherのど自慢

2006年より開催（年4回）

@二丁目九州男

コミュニティの人、行政、医療者、支援者、
NGO教育関係、企業ほか様々な立場の人が
出演し、その周囲の人たちが来場。平均来場者数
約50人（出演者等込）。交流サロンとしても機能。
初来場者が半数以上を占める。※手話通訳付

akta tag tour vol.12

サークルや団体、プロジェクトとコラボレーション
ションをして、その周囲のひとに普及する。



6. ウェブサイトを用いた啓発

岩橋 恒太

HIVの総合情報サイト www.hiv-map.net

PC画面



HIVお役立ちナビ
予防啓発/検査/治療/
支援などを紹介するリ
ソース集

**あんしんHIV検査
サーチ**
首都圏MSM向け検査
情報提供

HIV/エイズガイド
HIVの基礎知識につい
て、マンガとテキスト
で紹介

**HIV/エイズ情報
ファイル**
HIVとMSMに関する
データ等を紹介

スマートフォン画面



スマートフォンでのア
クセス数がPCでのア
クセス数を越えた事を
契機に、多様なデバイ
スで閲覧できる仕様に
改訂

リーフレット



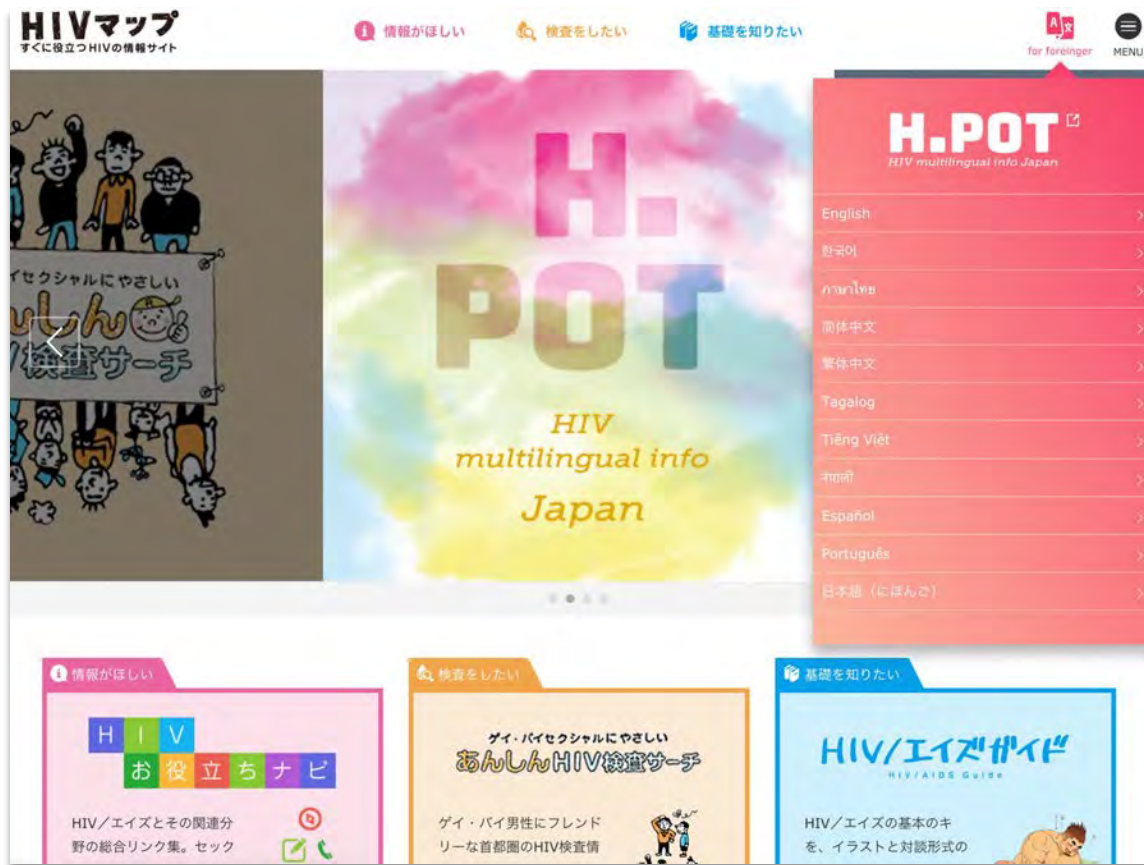
A4サイズのフライ
ヤーを制作・配付

(厚生労働省受託事業)

HIVマップのトップページを改編

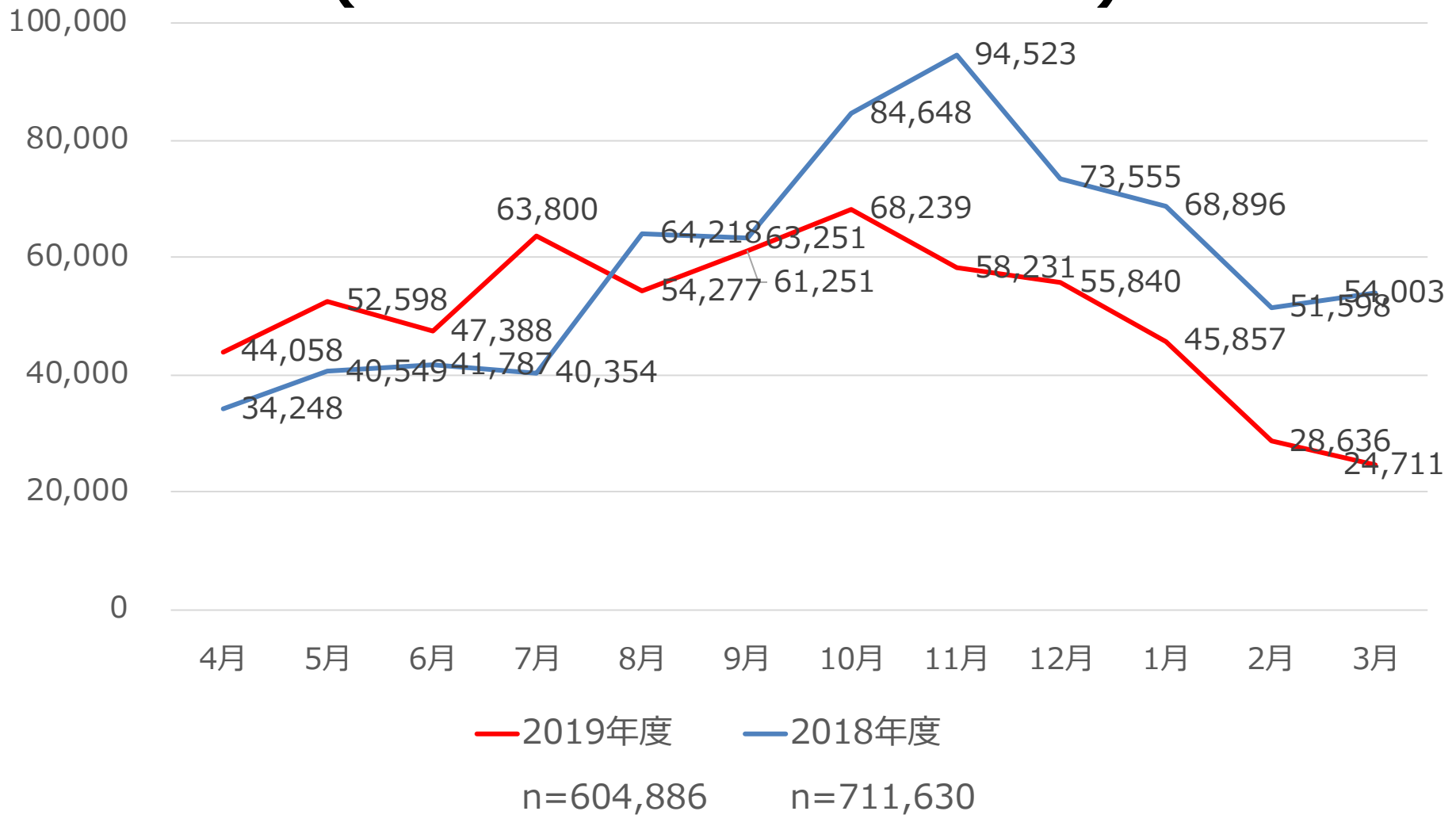


SP版



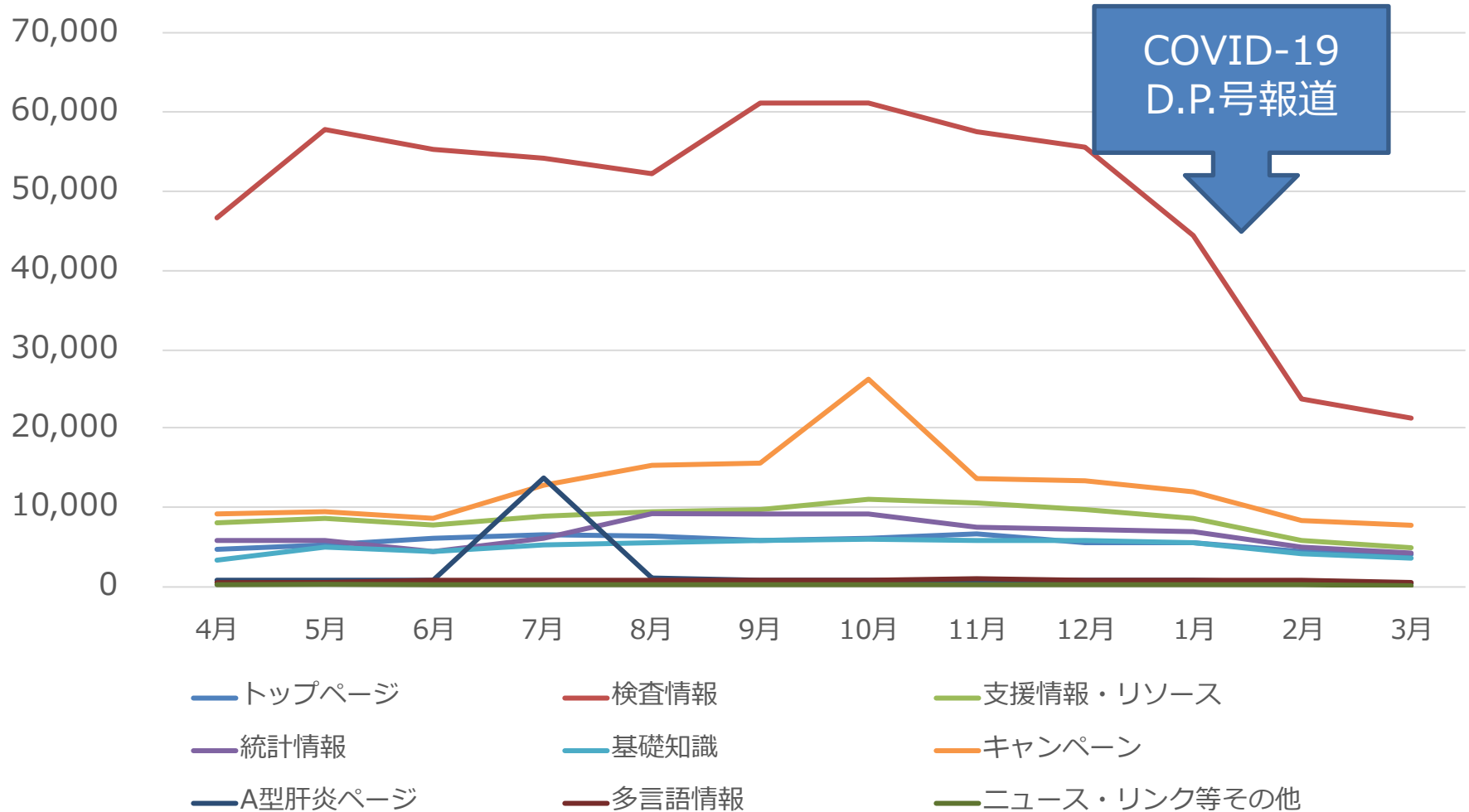
PC版

HIVマップ ユーザー数推移 (2019年度、2018年度比較)



昨年度に比べ、ユーザ数が15%減少した

HIVマップ 2019年度 コンテンツ別 アクセス数推移



年間を通じて、HIV検査情報ページのアクセス数が最も多い。
しかし、2020年1月以降アクセス数が大幅に減少。

akta.jp ～ウェブ上でのaktaへの入り口



コミュニティセンターaktaとそのプログラムを紹介するサイト

- community center akta
- DELIVERY BOYS
- Living Togetherのだ自慢
- デリヘルくんが聞く!突撃インタビュー!!
- HAVE A NICE SEX!
- 特定非営利活動法人akta
- SNS(Twitter、facebook)
- **[NEW!]** aktaチャンネル (YouTube)
- **[NEW!]** akta café

akta.jp ユーザー数推移

2019年度、2018年度比較



n=180,000

n=151,905

	2019年度	2018年度
ユーザー数	180,000(+18.5%)	151,905
セッション数	212,693(+14.8%)	185,300
ページビュー数	275,394(+10.1%)	250,053

7. HIV検査普及プログラムと 行政連携

岩橋 恒太

ヤロープロジェクト 2019



Photo 長谷良樹

ヤロープロジェクト -ヤローページ2019 新宿-

プログラムの目的：首都圏のゲイバーなど商業施設情報と一緒に、HIV検査や性の健康に関する情報を伝えることを目的とし2011年より発行。2015年には「新宿版」を発行。2016年発行の「上野浅草版」を最後に発行が止まっていたが、3年ぶりに「2019年新宿版」として復刊となった。



掲載内容：商業施設の情報のみならず、夜だけじゃない新宿二丁目の魅力や、aktaの情報を掲載。また商業施設欄には外国語対応についての項目や、料金システムなどをわかりやすく掲載し、表紙含め多様な人達への配慮に心がけて作成した。

広報：3年ぶりの復刊に寄せ、新宿をテーマとし、新宿二丁目の街を「ヤローページ」が盛り上げる一つのきっかけとして、新宿二丁目の街頭の広告を「デリバリーボーイズ募金」を使用して大々的に行った。またメディアを通し、発行の周知と制作にかける想いを発信した。振り返りとして関係者を呼びトーク&ライブイベントを行った。

発行部数：12,000部

後援：東京都福祉保健局、新宿区

協力：newTOKYO, ViiVヘルスケア



新宿二丁目がヤローイエローに！
11/1～11/10（広告街頭フラッグ）
バナーフラッグキャンペーン
※看板広告（ニューファミビル壁面）2019年11月～12月中旬予定

検査環境の整備と検査行動の促進

戦略研究終了後、2011年4月からの取り組み

MSM首都圏グループ（NPO法人ぷれいす東京＋NPO法人akta）＋

厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」



効果評価

厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」との連携による調査・効果評価の実施。

- ・MSMにおける啓発活動の広がり
把握するコミュニティでの質問紙調査



MSMを対象とした HIV検査普及・広報

- ・HIV検査普及のための
資材の企画・制作
- ・首都圏地域のゲイ向け商業施設への
アウトリーチ



検査環境・相談支援の整備

- ・エイズ対策事業に関する意見交換会の開催
- ・HIV検査従事者に向けた研修会の実施（都県とMSM首都圏グループで実施）
- ・通常検査・臨時検査検査情報収集
- ・支援・相談情報提供 ウェブサイト：HIVマップ



検査環境の整備と検査行動の促進 保健師（HIV検査担当者）研修会

東京都

東京都福祉保健局
健康安全室感染症対策課
エイズ対策係

- 日付：2019年7月19日
- 会場：東京都社会福祉保健
医療研修センター

神奈川県

神奈川県保健福祉局
健康医療部健康危機管理課
感染対策グループ

- 日付：2020年1月24日
- 会場：神奈川県総合医療会
館2階A会議室

千葉県

千葉県保健福祉部
疾病対策課
感染対策室

- 日付：2020年2月17日
- 会場：市川健康福祉センター

埼玉県

埼玉県
保健医療部保健医療政策課
感染症・
新型インフルエンザ対策担当

- 日付：2019年10月4日
- 会場：埼玉会館 7B会議室

プログラム

コーディネート：生島嗣／ぶれいす東京

- ① 開催都県のHIV/エイズ対策の共有
- ② アイスブレイク
- ③ 陽性者の手記リーディング(HIVのリアリティの共有)
- ④ セクシャリティへの理解と求められる配慮
- ⑤ MSM検査の最新情報～HIV対策における検査の重要性～
- ⑥ 検査環境の取り組み事例の紹介と意見交換
- ⑦ セクシャリティに配慮した 模擬対応
- ⑧ 相談・支援に役立つリソース紹介/akta見学

アンケート

研修を通して…性的な話題への抵抗感を感じる人が少なくなった／身近にMSMがいる意識が高まる傾向が見られた／HIV陽性者の相談も他の相談者同様に対応する自信をつけた人が増えた／情報がアップデートされた

MSMへの理解を深め、MSMが安心して検査を受けられる環境整備

— 行政連携 —

行政機関と連携した検査広報：千葉県

プログラムの目的：ゲイ・バイセクシュアル男性があんしんして検査を受けられる環境を整備して、セクシュアリティに配慮した検査普及を行い、HIV感染の早期発見をし、エイズ発症により感染を知るケースを減少させる。



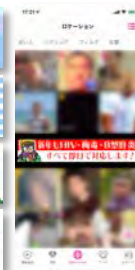
連携内容：ゲイに人気のアプリやネット媒体(9monsters、MENS NET JAPAN)にて、バナー広報を展開。セクシュアリティや地域性を考慮したイラスト、デザインでのバナー広報を展開した。

実施日程と施設：HIV・梅毒日曜検査

1. 令和元年6月2日(日)市川健康福祉センター(市川保健所)
2. 令和元年8月25日(日)公津の杜コミュニティセンター
3. 令和元年11月24日(日)市川健康福祉センター(市川保健所)
4. 令和2年1月19日(日)松戸健康福祉センター(松戸保健所)



帯バナー



9monsters



MEN'S NET
JAPAN



制作物：受検者に対して、不安をやわらげる電話相談や感染予防の情報サイトの紹介など、HIV/エイズに対する理解を深められるような啓発資材を作成・配布する。

- ・受検者が持ち帰れるA7サイズの情報カード
- ・コンドーム(今年度中に新しいデザインにて発注予定)
- ・2019年度は梅毒を扱った情報カードを作成



コンドーム

情報カード

検査環境の整備と検査行動の促進

行政機関と連携した検査広報

東京都

東京都福祉保健局健康安全部

MSM対象の保健所マップの作成・配布



新宿区保健所

ゲイのためのエイズ・性感染症検査

7/4, 12/5



9MONSTERS/バナー

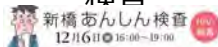


フライヤー・ポスター

みなと保健所

新橋あんしん検査

10/4, 12/6 夜間検査



9MONSTERS/バナー

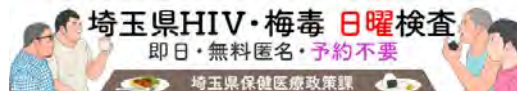


フライヤー・ポスター

埼玉県

埼玉県保健医療部疾病対策課

埼玉県検査情報ウェブサイト



10/7~10/20 9MONSTERS

11/4~11/17 9MONSTERS

11/28-12/4 9MONSTERS

12/16-12/22 9MONSTERS

1/6 - 1/19 9MONSTERS



1/20~2/2 9MONSTERS

草加市保健所

MSM限定検査会

8/20草加保健所



aktaとぷれいす東京から相談対応のためのスタッフ派遣。21名が受検, 相談者: 7名

連携による検査普及の課題

- 常にコミュニティや個々の声を聞くことの重要性。
- aktaの活動が検査に偏らないように、一次予防などとの活動のバランス。
- 増加している外国人への検査機会と支援・情報提供の検討。
- トランスジェンダーなど、性の多様性への配慮。
- 広報協力をしている検査機関での予約枠のオーバー。
- 行政担当者は常に異動があり、引き継ぎが十分に行われないこと。それにより、MSM対策の重要性が理解されないケースやNGOを安い下請けと勘違いされる場合も。

コロナの影響による保健所検査の停止

8. 調査・研究

岩橋 恒太

2019年度の主な研究分担・協力

- 厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」研究代表者 金子典代
→ **HIVcheck.jpの最終年度**
- 厚生労働省エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」研究代表者 今村顕史
- 厚生労働省エイズ対策研究事業「MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立及びPDCAサイクル構築のための研究」研究代表者 塩野徳史
- 厚生労働省エイズ対策政策研究事「2020年五輪大会に向けた東京都内の性感染症・HIV対策に関する研究」研究代表者 田沼順子



「MSMに対する有効なHIV検査提供と ハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」

52

厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」

研究1 ハイリスクMSMを対象とした有効な検査機会の開発 -医療機関とNGOの連携による自己検査キットを活用した検査機会の拡大

HIVcheck.jp：キットはスタッフから手渡しで配布。受検者は自己採血キットにより指先より採取した血液をろ紙にしみこませ、検体を郵送でACCに送付、スクリーニング検査結果を専用webサイトで確認する。



aktaに行く

コミュニティセンターaktaでHIV検査キットをゲット。



採血する

キット内の器具を使って自分で血液サンプルを準備。わかりやすい解説であんしん！



郵送する

血液サンプルをキット内の封筒に入れて投函。



結果確認

「検査結果を見る」から検査結果を確認。

- H27-H29 先行研究 *
「HIVcheck.jp 1.0」
- 検体回収率：82.4%
(1403/1702)
- 推定陽性率：**3.03%**

本研究「HIVcheck.jp 2.0」での新たな取り組み

- コミュニティセンターaktaの他、東京都内ゲイ向け商業施設（ハッテン場、クラブ）での配布試行、他地域(沖縄・コミュニティセンターmabui)での配布試行
- スクリーニング検査結果と自記式質問紙調査データをリンクした**血清行動科学調査**（同意を得た者のみ）の実施

方法

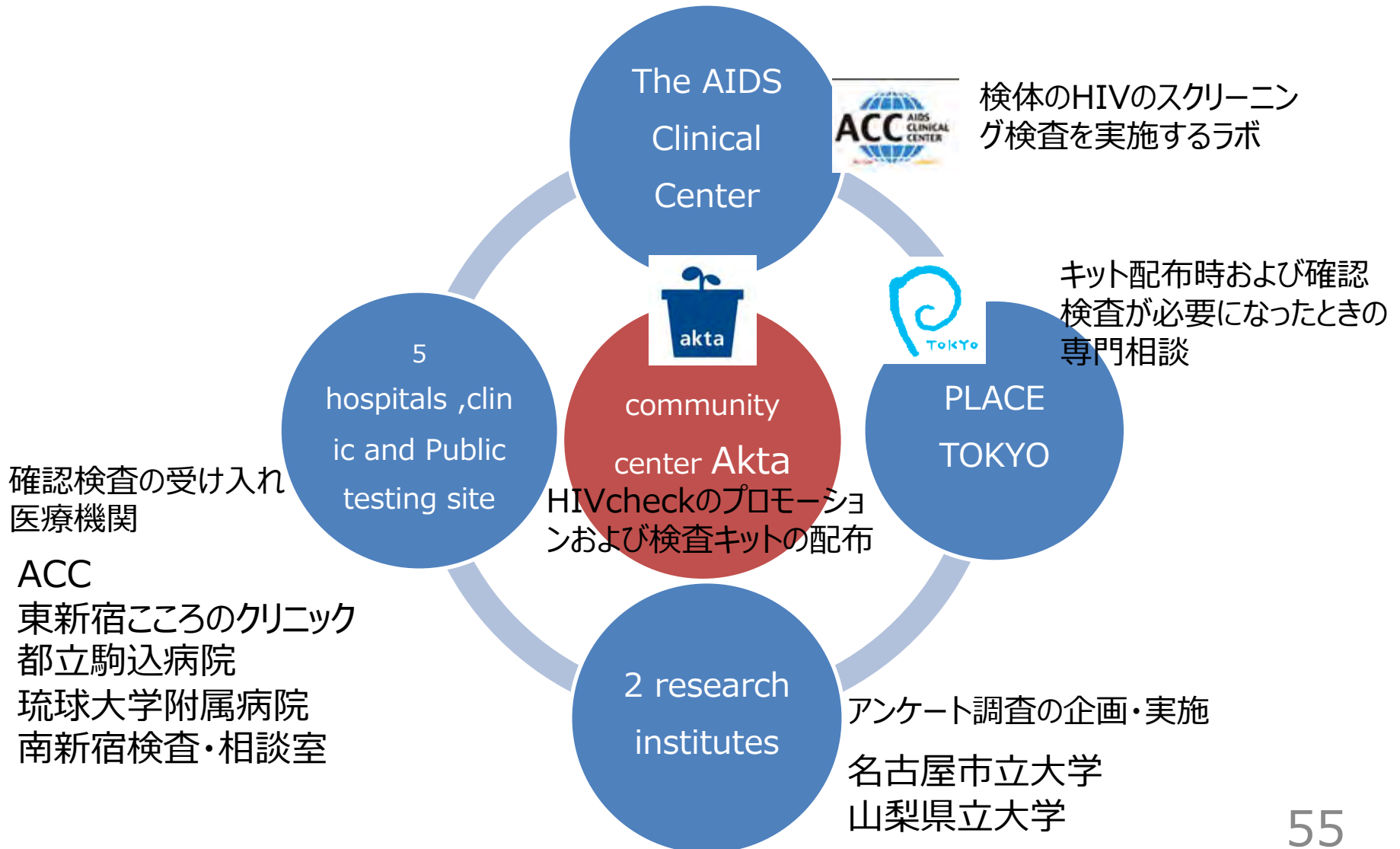
検査キットの配布期間：2018年2月26日～
2019年12月23日

検査キット配布対象者

- ・男性とセックスをする男性(MSM)であること
- ・年齢20歳以上
- ・日本語か英語での研究参加同意書の内容を理解し、同意した者

目標検査キット配布数 1,500キット/年
本研究での検査は、無料・匿名で実施

研究組織図



出張HIVcheck @都内ハッテン場 2018年6月、11月



HIVcheckのもつモビリティの高さを活かして、
たまたまハッテン場において検査ニーズのある層、
aktaに受け取りに来られない層を対象に新宿にあるハッテン場で展開

出張HIVcheck @コミュニティセンター-mabui
2019年2月、2020年1月

検索 **沖縄 HIVcheck**

HIV 郵送検査 キットがもらえます
先着 50 名様限定！（事前予約可）

無料
匿名



沖縄 HIVcheck 1/10 (金)
19:00~24:00

場所：コミュニティセンター mabui
(沖縄県那覇市壺屋 1-7-5 民衆ビル 3F)
tel : 098-862-0114(木~日 18:00~21:00)
mail : office@nankr.jp



本研究は、厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイルスク層への介入方法の開発に関する研究」で実施されます。

HIVcheck スペシャルデー

at community center mabui

2/16

土

先着
50名
まで

13:00~16:00

**コミュニティセンター mabui で
検査キットを
この日受け取れます！**

ゲイ・バイセクシュアル男性に
無料・匿名で郵送して使う
HIV検査キットをお渡しします。
この時間、専門の相談員による
相談もお受けします。

コミュニティセンター mabui
沖縄県那覇市豊原1-7-5 民衆ビル3F
tel. 098-862-0114 (休～日18:00～21:00)
mail: office@nankr.jp

ネット検査で
ちゃーがんじゃ～

マクドナルド

ドン・ホーロー

さんすず

バーモント

はなやま

ホテル

電報局

パイオニア

パーフェクション

丸福マーケット

mabuiでゲット、自宅でチェック!

mabuiで
キットを受け取る

自宅で
採血する

検査機関に
郵送する

HIVcheck.jpで
検査結果を確認

南風病院

要確認検査の場合は
病院を予約できる

➔

無料・匿名

くわしくはコチラ

HIVcheck.jp

※ 匿名検査は、文部科学省認定機関「HIV検査センター」に設置する検査機関（HIV検査センター）のサービスを利用し、結果は郵送にて提供いたします。

©2014 nankr

2019年2月16日(土)、2020年1月10日(金)
 沖縄県那覇市 コミュニティセンターmabui
 研究協力：琉球大学附属病院、
 nankr OKINAWA/コミュニティセンターmabui

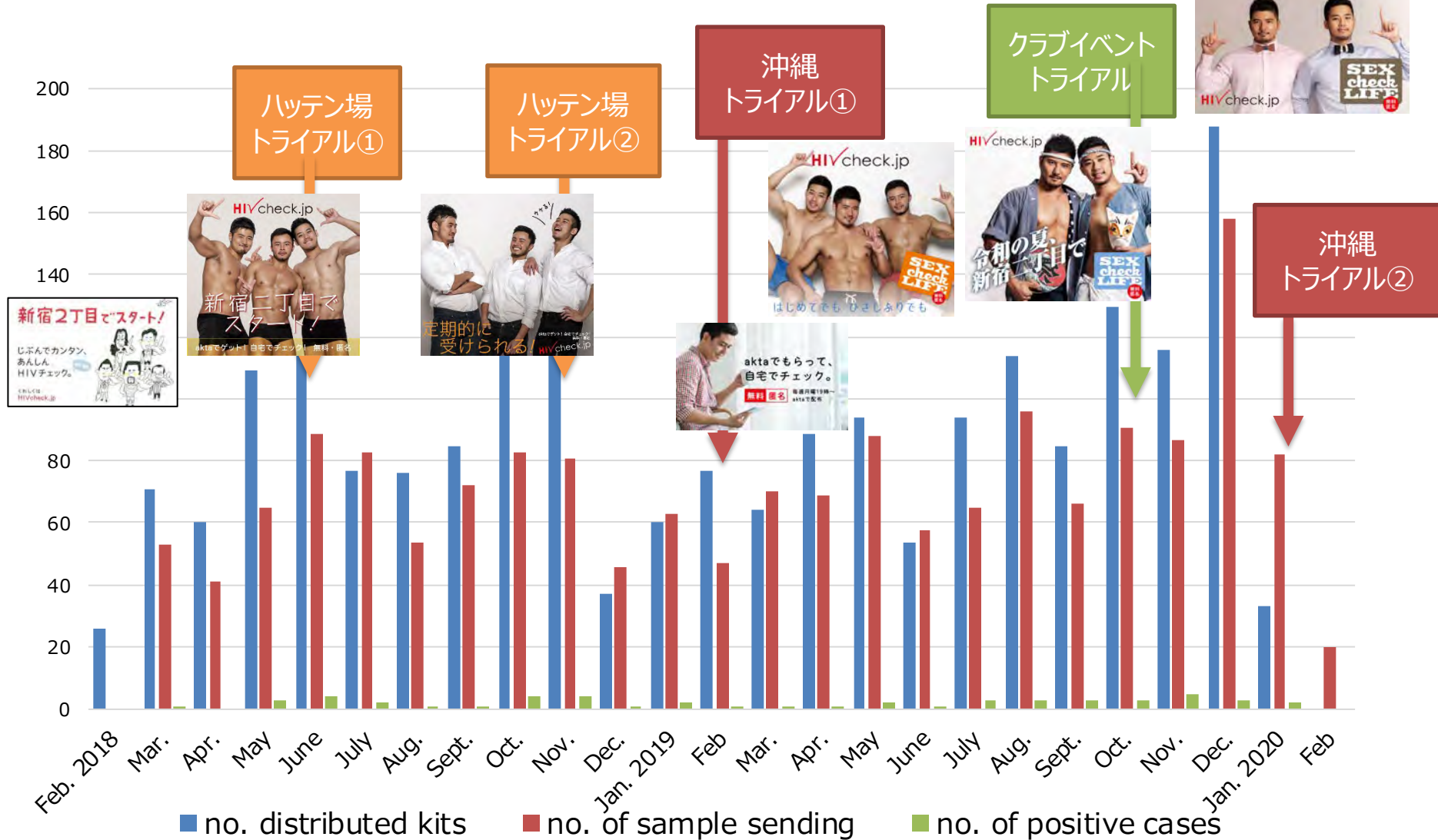
結果 HIVcheck2.0

(～2020年1月31日)

- 総配布数 2,096件
- 相談件数 490件
- 検査実施件数 1,741件(82%)
- 検査結果をウェブで閲覧している割合 99%
- スクリーニング陽性件数 45件
- 陽性割合 3.83%

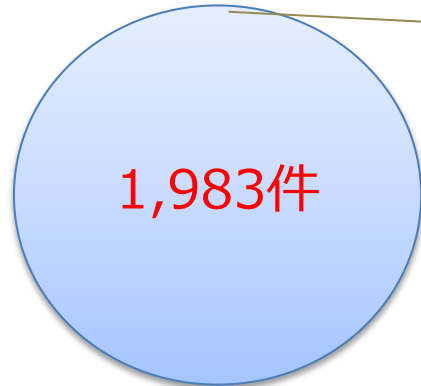
検査キットの配布状況

2018年2月～2020年1月



2018年2月-2020年1月 起点別配布と検査実績

起点1:akta



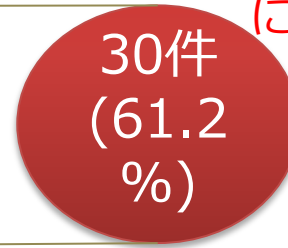
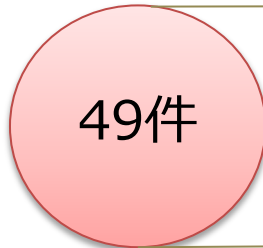
ACCラボ



akta、ハッテン場、
mabui
でキットを受け取り、
検体を送付した者での
推定陽性割合

3.83%(45件)

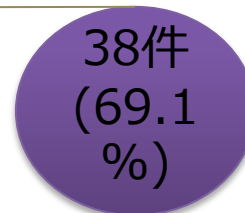
起点2:都内ハッテン場(2回)



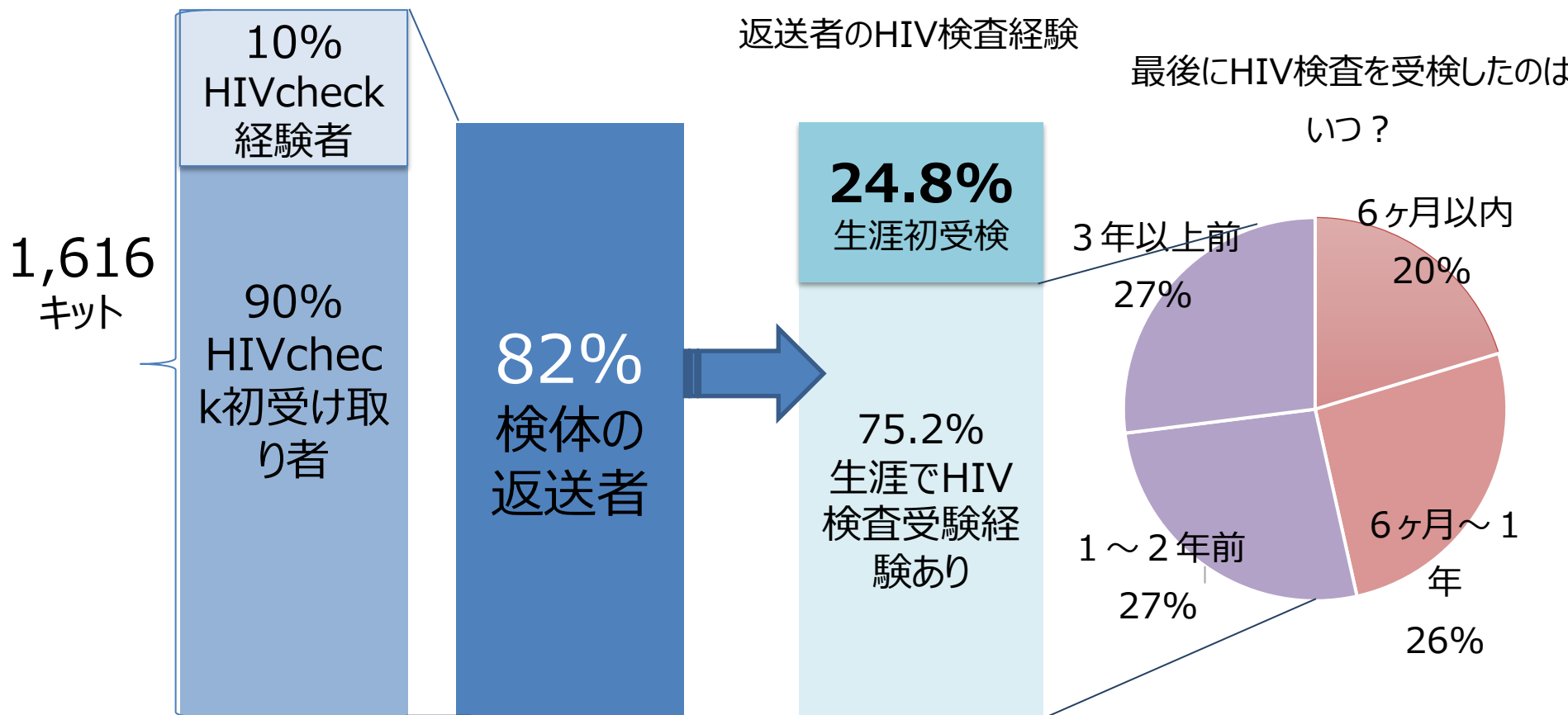
陽性43件、
*1名は結果サイトに
アクセス無し

陽性2件

起点3:沖縄community center mabui(2回)



検査キットの配布状況と検体返送者の背景(～2019年12月)



考察

- 現行のHIVcheck2.0は、HIVcheck1.0の陽性割合(3.03%)と比して、陽性割合が低下せず(3.83%)、本検査モデルの有効性を示している。
- 沖縄でのトライアルは、東京以外での地域でのコミュニティセンターをベースにした展開の実施可能性を示した。
- 本年度がHIVcheck.jp2.0の最終年度となるため、さらに成果や課題を分析・検討し、次モデルの企画・実施につなげる。

HIVcheck.jp3.0 is coming soon



2020年7月上旬、イギリスより到着

協力：Dr Jaime H Vera Rojas(University of Sussex), aeguana, ViiVヘルスケア 63

